

2 著書・論文・学会発表等

(1) 講演

ア 診療部

- 1 吉永 勝訓. “リハビリテーション医療体制”. 第3回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会. 静岡市, 2019-11-15/17. (教育講演)

(2) シンポジウム等

ア 診療部

- 1 染屋 政幸. “障害児地域支援と医療型障害児入所施設の役割 医療型障害児入所施設における在宅移行と在宅支援”. 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会. 神戸市, 2019-06-12/16. (シンポジウム)
- 2 石井 光子. “成人期における摂食・呼吸機能の低下とアドバンス・ケア・プランニング”. 令和元年度日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会. 水戸市, 2019-5-30/31. (シンポジウム)
- 3 田邊 良. “小児科医の立場から障害児親子へ伝えたいこと”. AMED研究班公開シンポジウム 2019in東京. 東京, 2020-01-11. (シンポジウム)

イ 看護部

- 1 尾上 望. “医療型障害児入所施設の実習指導者の立場から”. 第29回日本小児看護学会. 札幌市, 2019-08-03/04. (テーマセッション)
- 2 尾上 望. “脳性麻痺や二分脊椎症などの先天性脳障害の子どもへの看護実践”. 第31回日本リハビリテーション看護. 千代田区, 2019-11-09/10. (交流セミナー)

(3) 学会・研究会等の発表

ア 診療部

- 1 菊地 尚久. “回復期リハビリテーションを施行している脊髄損傷患者の疼痛の特徴と治療について”. 第10回ニューロリハビリテーション学会学術集会. 仙台市, 2019-04-29. (口述)
- 2 Kikuchi N. “Workshop39 Rehabilitation and Dogs: Consultation with the mobility service dog's introduction for the disabled persons and practical management to official approval”. ISPRM 2019 Meeting. Kobe City, 2019-06-10/13. (口述)
- 3 Kikuchi N, Yoshinaga K, Nakamura T. “Recent etiological characteristics of recovery phase spinal cord injury rehabilitation of the public rehabilitation center in JAPAN”. ISPRM 2019 Meeting. Kobe City, 2019-06-10/13. (ポスター)
- 4 菊地 尚久, 飯塚 正之, 浅野 由美, 中山 一, 赤荻 英理, 米津 彩子, 近藤 美智子, 小澤 里恵, 吉永 勝訓. “回復期脊髄損傷患者の体組成、骨密度の特徴とリハビリテーション治療による変化”. 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会. 神戸市, 2019-06-12/15. (口述)
- 5 菊地 尚久. “リハビリテーション科医は生活期のリハビリテーション医療にどのようにかわるべきか 生活期の装具療法にどのようにかわっていくか”. 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会. 神戸市, 2019-06-12/15. (口述)
- 6 菊地 尚久. “回復期リハビリテーション病棟における全身管理-長期的な生命予後・機能予後を改善するために- 骨関節疾患を有する患者の回復期リハビリテーション リハビリテーション科専門医の立場からみた全身管理”. 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会. 神戸市, 2019-06-12/15. (口述)
- 7 菊地 尚久, 浦田 敦, 吉永 勝訓. “高齢大腿切断患者に対する栄養管理に配慮したリハビリテーション治療と義足作製の帰結”. 第35回日本義肢装具学会学術大会. 仙台市, 2019-07-13/14. (口述)
- 8 Kikuchi N, Urata A, Asano Y, Nakayama H, Yoshinaga K “Prosthesis and rehabilitation management with nutrition therapy for the lower extremities' amputee patients due to peripheral artery disease”. ISPO 2019 Meeting. Kobe City, 2019-10-04/07. (ポスター)
- 9 Kikuchi N, Yoshinaga K “Etiological characteristics of recovery phase spinal cord injury rehabilitation in the public rehabilitation center in JAPAN”. ECNR 2019 Meeting. Budapest City Hungary, 2019-10-08/13. (ポスター)
- 10 菊地 尚久. “回復期頸髄損傷患者の痙縮に対するボツリヌス治療効果”. 第54回日本脊髄障害医学会. 秋田市, 2019-10-31/11-01. (ポスター)
- 11 菊地 尚久. “慢性疼痛に対するリハビリテーション診療の現況と今後の展望 脊髄損傷に生じる慢性疼痛とリハビリテーション治療”. 第3回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会. 静岡市, 2019-11-15/17. (口述)
- 12 菊地 尚久. “リハビリテーション科専攻医からみた人工関節術後のリハビリテーション治療”. 第50回日本人工関節学会. 福岡市, 2020-02-21/22. (口述)

- 13 石井 光子. “千葉県を直撃した台風15号の長期停電被害における医療的ケア児者の避難行動とその後”. 第46回日本重症心身障害福祉協会東日本施設協議会. 東京, 2019-11-07/08. (口述)
- 14 付岡 正, 常泉 吉一. “人工膝関節脛骨矢状面アライメントに対する皮膚脛骨髄外ロッド間距離と骨切り誤差確認ガイドの有用性”. 第92回日本整形外科学会学術総会. 横浜市, 2019-05-09/12. (ポスター)
- 15 付岡 正, 常泉 吉一. “Impaction bone grafting法により大腿骨再建を行った人工股関節再置換術の成績”. 第46回日本股関節学会学術集会. 宮崎市, 2019-10-25/26. (口述)
- 16 付岡 正, 常泉 吉一. “人工膝関節置換術後の脆弱性骨折”. 第47回日本関節病学会. 福岡市, 2019-11-21/22. (口述)
- 17 Tadashi, Tsukeoka. “Posterior Condylar Referencing Guide for Femoral Component Rotation Is Not Always Reliable in Total Knee Arthroplasty”. Orthopaedic Research Society 2020 Annual Meeting. Arizona, 2020-02-08/11. (ポスター)
- 18 付岡 正. “後顆軸参照ガイドを用いた人工膝関節術 後大腿骨component外旋角度”. 第50回日本人工関節学会. 福岡市, 2020-02-21/22. (口述)
- 19 常泉 吉一, 付岡 正. “3D-MRIを用いた大腿骨外旋角度決定によるTKA大腿骨コンポーネントの回旋設置精度”. 第63回日本リウマチ学会. 京都市, 2019-4-15/17. (口述)
- 20 常泉 吉一. “CR型TKA後の中間屈曲位不安定性と患者立脚型評価階段関連項目との関係”. 第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会. 札幌市, 2019-06-13/15. (ポスター)
- 21 Yoshikazu, Tsuneizumi. “The Posterior femoral offset ratio of Journey II CR-Type in knee extension posture”. International Society for Technology in Arthroplasty 2019. Toront, 2019-10-02/05. (ポスター)
- 22 常泉 吉一, 付岡 正. “TKA後の中間屈曲位roll-back ratioの検討”. 第47回日本関節病学会. 福岡市, 2019-11-21/22. (口述)
- 23 常泉 吉一, 付岡 正, 栗原 靖, 大杉 紘徳, 長田 光平, 遠藤 友樹, 宮原 なおみ, 戸坂 友也. “Journey CR とXRの歩行解析”. 第50回日本人工関節学会. 福岡市, 2020-02-21/22. (口述)
- 24 赤荻 英理, 菊地尚久, 飯塚 正之, 浅野 由美, 中山 一, 米津 彩子, 近藤 美智子, 小澤 里恵, 長谷川 純子, 吉永 勝訓. “高次脳機能障害者に対する自動車運転のためのリハビリテーション治療の取り組み”. 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会. 神戸市, 2019-06-12/15. (口述)
- 25 浅野 由美, 菊地 尚久, 飯塚 正之, 赤荻 英理, 米津 彩子, 中山 一, 近藤 美智子, 小澤 里恵, 吉永 勝訓. “副腎皮質ステロイド内服患者におけるリハビリテーション治療転帰の検討”. 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会. 神戸市, 2019-06-12/15. (口述)
- 26 田邊 良, 佐野 賢太郎, 小島 佳奈, 内山 薫, 湧井 敦子, 石井 光子. “Constraint-induced movement therapy (CI療法)小児例の課題と可能性の検討”. 第61回日本小児神経学会学術集会. 名古屋市, 2019-05-31/06-02. (口述)
- 27 田邊 良, 佐野 賢太郎, 小島 佳奈, 内山 薫, 湧井 敦子, 石井 光子. “Constraint-induced movement therapy (CI療法)小児例の治療経験のまとめ”. 第61回日本小児神経学会学術集会. 名古屋市, 2019-05-31/06-02. (ポスター)
- 28 田邊 良, 佐々木 律子, 小川 智美, 北村 千里, 草なぎ 香. “医療型入所施設、療育施設における呼吸ケアサポートチームの取り組みと課題”. 第52回日本小児呼吸器学会. 鹿児島市, 2019-11-15/16. (口述)
- 29 中山 一, 菊地 尚久, 飯塚 正之, 浅野 由美, 赤荻 英理, 米津 彩子, 近藤 美智子, 小澤 里恵, 吉永 勝訓. “脊髄損傷後の異所性骨化のリスクファクターと治療状況”. 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会. 神戸市, 2019-06-12/15. (口述)
- 30 近藤 美智子, 米津 彩子, 赤荻 英理. “当センターにおける高次脳機能障害患者への就労支援”. 第1410回千葉医学会例会・第37回脳神経内科学教室例会. 千葉市, 2019-12-14. (口述)
- 31 小澤 里恵, 菊地 尚久, 飯塚 正之, 浅野 由美, 中山 一, 赤荻 英理, 米津 彩子, 近藤 美智子, 吉永 勝訓. “回復期にある外傷性頸髄損傷患者における嚥下障害のリスク因子の検討”. 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会. 神戸市, 2019-06-12/15. (口述)

イ リハビリテーション療法部

- 1 神保 和正, 小林 佳雄, 北郷 仁彦, 岡本 美希子, 中井 麻梨子, 川原 佑亮, 工藤 大弥, 太田 直樹, 田中 康之, 菊地 尚久, 吉永 勝訓. “頸髄損傷者に対するPOWER ASSIST GLOVE REの即時効果の検証”. 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会. 神戸市, 2019-06-12/16. (ポスター)
- 2 佐藤 仁俊, 宮嶋 利成, 瀧澤 素子, 菊地 尚久, 吉永 勝訓. “回復期脊髄損傷者の体組成変化と身体機能の関連について”. 第44回日本運動療法学会. 東京 中央区, 2019-06-22. (口述)
- 3 宮嶋 利成, 佐藤 仁俊, 瀧澤 素子, 菊地 尚久, 吉永 勝訓. “障害者のサルコペニアについての検討 回復期脊髄損傷者の症例から”. 第44回日本運動療法学会学術集会. 所沢市, 2019-06-22. (口述)
- 4 知念 洋美, 須田 真紀, 喜安 朋子, 廣瀬 綾奈. “最初のコミュニケーションボードに必要な語彙は何か?”. 第20回日本言語聴覚学会. 大分市, 2019-06-28/29. (口述)
- 5 喜安 朋子, 廣瀬 綾奈, 知念 洋美, 内田 智子. “気管切開管理が長期化し発声困難であった1例 構音の変化に焦点を当てて”. 第20回日本言語聴覚学会. 大分市, 2019-06-28/29. (口述)

- 6 小池 学. “頸髄損傷に合併した嚥下障害の回復期リハビリテーションによる改善効果”. 第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会. 新潟市, 2019-09-06/07. (口述)
- 7 佐藤 美希子, 安森 太一, 浦田 敦, 菊地 尚久. “当センターでの能動・筋電義手作製の取り組み 復職に至った事例を通して”. 第53回日本作業療法学会. 福岡市, 2019-09-06/08. (ポスター)
- 8 草野 考昭, 安森 太一, 石田 理江子, 米津 彩子. “自動車運転再開支援におけるクライアントとの協働 b主体性を生かした支援の実施”. 第53回日本作業療法学会. 福岡市, 2019-09-06/08. (ポスター)
- 9 大塚 栄子, 北村 千里, 水流 正人, 高波 博子, 湧井 敦子, 田邊 良, 石井 光子. “マリネスコ・シェーグレン症候群症例の摂食・製作活動の能力及び意欲が 向上した例: 多職種連携への影響を踏まえて (第2報)”. 第45回日本重症心身障害学会学術集会. 岡山市, 2019-09-20/21. (口述)
- 10 吉田 顕, 山崎 明子, 杉山 裕美, 立花 蓮玉, 石井 光子. “長期的支援により食べる意欲を取り戻し経管栄養から完全経口摂取が可能になった重症心身障害者の一例”. 第30回重症心身障害療育学会学術集会. 長岡市, 2019-10-03/04. (口述)
- 11 石田 純, 田邊 良, 中島 友加, 北村 千里, 川人 圭将, 手塚 洋佑, 山極 涼太. “チャレンジクラブの活動報告: 思春期を迎えた肢体不自由児への自立に向け取り組み”. 第64回全国肢体不自由児療育研究大会. 秋田市, 2019-10-24/25. (口述)
- 12 村山 尊司, 高浜 功丞, 神保 和正, 菊地 尚久, 吉永 勝訓. “頸椎損傷上肢麻痺への反復性磁気刺激を併用したリハビリテーションの運動機能と脳機能構造の変化”. 第54回日本脊髄障害医学会. 秋田市, 2019-10-31/11-01. (口述)
- 13 安森 太一, 高浜 功丞, 神保 和正, 吉村 友宏, 菊地 尚久, 吉永 勝訓. “頸髄損傷者のための上肢機能評価「GRASSP」とADLとの関連性”. 第54回日本脊髄障害医学会. 秋田市, 2019-10-31/11-01. (口述)
- 14 高浜 功丞, 神保 和正, 吉村 友宏, 安森 太一, 菊地 尚久, 吉永 勝訓. “頸髄損傷者むけ「GRASSP」に対する妥当性検証の試み”. 第54回日本脊髄障害医学会. 秋田市, 2019-10-31/11-01. (口述)
- 15 吉村 友宏, 高浜 功丞, 神保 和正, 安森 太一, 菊地 尚久, 吉永 勝訓. “上肢機能評価バッテリー「GRASSP」を用いた頸髄損傷者のADL状況について症例からの検討”. 第54回日本脊髄障害医学会. 秋田市, 2019-10-31/11-01. (ポスター)
- 16 神保 和正, 高浜 功丞, 吉村 友宏, 安森 太一, 菊地 尚久, 吉永 勝訓. “頸髄損傷者に特化した「GRASSP」および「CUE-T」の有効性の検証”. 第54回日本脊髄障害医学会. 秋田市, 2019-10-31/11-01. (口述)
- 17 村山 尊司, 高浜 功丞, 神保 和正. “脊髄損傷後の損傷レベル別の脳容積の変化”. 第3回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会. 静岡市, 2019-11-15/17. (ポスター)
- 18 大矢 祥平, 小川 智美, 鈴木 晃穂, 村山 尊司, 田邊 良, 石井 光子. “当施設親子入園中の粗大運動能力の変化 GMFCSレベルIVおよびVの検討”. 第3回日本リハビリテーション医学会秋季学術大会. 静岡市, 2019-11-15/17. (ポスター)
- 19 吉村 友宏. “当センター自宅退院患者における入院中と退院後の転倒・転落状況調査”. リハビリテーション・ケア合同研究大会 金沢2019. 金沢市, 2019-11-21/22. (ポスター)
- 20 川原 佑亮, 近藤 美智子, 三好 誠, 丹治 千尋, 阿部 里子. “不全脊髄損傷者に対し症例に寄り添い排泄動作支援を行った結果、ADL意欲が向上した一例”. リハビリテーション・ケア合同研究大会 金沢2019. 金沢市, 2019-11-21/22. (口述)
- 21 長谷川 純子, 石田 理江子, 尾花 智子, 安森 太一, 小倉 由紀, 赤荻 英理, 吉永 勝訓. “高次脳機能障害者の運転再開評価: 後方視調査における質的研究”. 第43回日本高次脳機能障害学会学術総会. 仙台市, 2019-11-28/29. (口述)
- 22 山本 小緒里, 江口 洋子 (慶應義塾大学医学部), 他. “社会的出来事記録の回復を示した前交通動脈瘤破裂の1例”. 第43回日本高次脳機能障害学会学術総会. 仙台市, 2019-11-28/29. (口述)
- 23 大矢 祥平, 村山 尊司. “自立活動を通じて粗大運動能力が向上したCardio-Facial-Cutaneous症候群の一症例 「個別の指導計画」作成に関与して”. 第6回小児理学療法学術大会. 大阪市, 2019-12-22/23. (ポスター)
- 24 鈴木 晃穂, 大矢 祥平, 新城 綾香, 神保 和正, 村山 尊司, 田邊 良. “未就学の脳性麻痺児に対して修正版CI療法を親子入園で実施した一例”. 第6回小児理学療法学術大会. 大阪市, 2019-12-22/23. (ポスター)

ウ 補装具製作施設

- 1 浦田 敦, 菊地 尚久, 吉永 勝訓. “1度の樹脂注型で骨格構造肘継手単軸固定式の装飾用上腕義手が作製可能な部品の開発”. 第35回日本義肢装具学会学術大会. 仙台市, 2019-07-13/14. (ポスター)

エ 看護部

- 1 飯田 直子, 池畑 久美子, 酒井 郁子. “総合リハビリテーション病院において多職種で取り組む 退院支援のしくみづくり”. 第31回日本リハビリテーション看護. 千代田区, 2019-11-09/10. (口述)
- 2 飯田 沙織, 齋藤 なをみ, 鈴木 智子, 清水 敬子, 林 由季子, 庄司 愛梨, 齋藤 仁美, 横山 夕里子, 平田 由美, 古谷 房枝, 池畑 久美子. “高齢患者の退院に向けた家族の意思決定支援～プロセスを振り返る～”. リハビリテーション・ケア合同研究大会金沢2019. 金沢市, 2019-11-21/22. (ポスター)

オ 療育支援部

- 1 齊藤 幸太, 葛岡 正孝. “行動障害を持つ重症心身障害者への支援”. 身体障害者リハビリテーション研究集会 2019. 高松市, 2019-11-28. (口述)

カ 更生園

- 1 篠原 正倫. “自立訓練における効果測定の現状と課題：自立訓練に必要な評価指標は何かを考える”. 身体障害者リハビリテーション研究集会 2019. 高松市, 2019-11-28. (口述)
- 2 檜澤 美佳. “就労を目指した40代左片麻痺女性の支援：復職から新規就労（福祉的就労）に向けて”. 身体障害者リハビリテーション研究集会 2019. 高松市, 2019-11-28. (口述)

キ 高次脳機能障害支援センター

- 1 小倉 由紀, 石田 理江子, 安森 太一, 尾花 智子, 赤荻 英理, 吉永 勝訓. “当センターにおける実車評価不可例の特徴と経過”. 第43回日本高次脳機能障害学会学術総会. 仙台市, 2019-11-28/29. (ポスター)
- 2 揚戸 薫, 田中 葉子, 小菅 倫子, 小倉 由紀, 田邊 良, 吉永 勝訓. “青年期における支援を考える(その2) 卒業時進路決定できず、1年をかけて意思決定するまでのプロセス”. 第43回日本高次脳機能障害学会学術総会. 仙台市, 2019-11-28/29. (ポスター)
- 3 小菅 倫子, 小倉 由紀, 揚戸 薫, 前島 潤子, 田中 葉子, 三浦 麻由佳, 廣瀬 綾奈, 坂田 宏, 吉永 勝訓. “青年期における支援を考える(その1) 複数の症例から見た支援の実際”. 第43回日本高次脳機能障害学会学術総会. 仙台市, 2019-11-28/29. (ポスター)
- 4 前島 潤子, 田中 葉子, 小倉 由紀, 山本 小緒里, 赤荻 英理, 鈴木 寿臣, 吉永 勝訓. “重度重複高次脳機能障害例を抱える家族への支援 妻の気持ちに寄り添い働きかけた一例”. 第43回日本高次脳機能障害学会学術総会. 仙台市, 2019-11-28/29. (ポスター)
- 5 田中 葉子, 小倉 由紀, 吉永 勝訓. “高次脳機能障害者の復職支援の在り方を考える 職業センターとの連携を行なった一事例を通して”. 第43回日本高次脳機能障害学会学術総会. 仙台市, 2019-11-28/29. (ポスター)

ク 地域リハ推進部

- 1 太田 直樹, 田中 康之. “「ちば地域リハ・パートナー」と創る千葉県の地域リハビリテーション支援体制”. 第78回日本公衆衛生学会総会. 高知市, 2019-10-23/25. (ポスター)
- 2 太田 直樹, 森戸 崇行, 安森 太一, 吉村 友宏, 佐藤 仁俊, 鈴木 謙太郎, 阿部 里子, 越野 明子, 上田 広美, 飯田 直子, 後藤 達也. “当センター在宅退院患者における福祉用具活用状況調査：退院3か月後の介護支援専門員へのアンケート”. リハビリテーション・ケア合同研究大会 金沢2019. 金沢市, 2019-11-21/22. (ポスター)
- 3 後藤 達也. “令和元年台風15号における千葉JRATの活動報告と課題”. 第58回千葉県公衆衛生学会. 千葉市, 2020-01-28. (口述)
- 4 後藤 達也. “令和元年台風15号における千葉県と千葉JRATの協定適用の課題”. 第25回日本災害医学会総会・学術集会. 神戸市, 2020-02-20/22. (ポスター)

ケ 総合相談部

- 1 景山 朋子. 低血糖による長期入院児の外部療育機関通所による社会性の広がり施設移行支援. 第63回全国肢体不自由児療育研究大会. 福井市, 2019-10-25/26. (口述)
- 2 佐藤 郁夫. 医療的ケアが必要な子どもと家族への相談支援：相談支援専門員の役割と課題. 第63回全国肢体不自由児療育研究大会. 福井市, 2019-10-25/26. (口述)

(4) 研究助成金等

- 1 菊地 尚久(代表)：慢性期脊髄損傷に対する痙縮と反復磁気刺激治療を用いた機能回復の多施設間検討, 平成31年度文部省科学研究費補助金(3年), 基盤研究(c), 課題番号：1818K10717, 研究経費：1,170千円.
- 2 菊地 尚久(分担)：診療報酬請求書情報を用いた重度痙縮の医療経済学的検討. 平成31年度文部省科学研究費補助金, 基盤研究(c), 研究経費100千円.

(5) 図書 原著論文 その他

ア 図書

- 1 吉永 勝訓, 小倉 由紀, 中島 友加, 廣瀬 綾奈, 長谷川 純子, 伊藤 孝子, 湧井 敦子. “医療期(小児から成人を通して)”. 高次脳機能障害者家族による家族支援サポートシステム構築に向けたプログラム作りへの支援: 家族・当事者が、支援される人から支援できる人に育っていくための研究. 社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院編. 2020, p.91-106, (2017年度~2019年度 自賠責運用益拠出事業)
- 2 吉永 勝訓編. 在宅医に役立つ生活期における補装具・生活用具の知識. 全日本病院出版会, 2019, 5, 94p., (Monthly Book Medical Rehabilitation, 234).
- 3 吉永 勝訓編. 整形外科疾患のリハビリテーション最前線. 医歯薬出版, 2019, 128p., (Journal of Clinical Rehabilitation, 臨時増刊(28巻7号)).
- 4 菊地 尚久. “生活期のリハビリテーション医療を担うチーム”. 生活期のリハビリテーション医学・医療テキスト. 久保俊一, 水間正澄編. 医学書院, 2020, p.24-25.
- 5 石井 光子. “3 誤嚥と誤嚥性肺炎”. 小児の摂食嚥下障害と食事支援. 尾本和彦, 小沢浩編. 医歯薬出版, 2019, p.23-31.
- 6 鶴岡 弘章. “ダウン症候群 全身性疾患”. こどもの整形外科疾患の診かた. 亀ヶ谷真琴編. 医学書院, 2019, p.391-397.
- 7 鶴岡 弘章. “重症心身障害児の骨折症例 在宅・生活期の現場で”. 症例から学ぶ!リハ現場のピットフォール. 長谷川千恵子編. 医歯薬出版, 2019, p.86-88.
- 8 鶴岡 弘章. “足根骨癒合症 下肢にみられる疾患”. こどもの整形外科疾患の診かた. 亀ヶ谷真琴編. 医学書院, 2019, p.101-105.
- 9 中山 一. “脊髄梗塞リハ中に発生した異所性骨化の症例 回復期リハビリテーションの現場で”. 症例から学ぶ!リハ現場のピットフォール. 長谷川千恵子編. 医歯薬出版, 2019, p.57-60.
- 10 田中 康之. “行政と働く・行政で働く”. 地域理学療法学. 浅川康吉編. メジカルビュー社, 2019, p.250-257, (理学療法学テキスト).
- 11 田中 康之. “自治体事業に関わる”. 地域理学療法学. 浅川康吉編. メジカルビュー社, 2019, p.258-260, (理学療法学テキスト).

イ 原著

(ア) 診療部

- 1 菊地 尚久, 吉永 勝訓. 回復期脊髄損傷患者の体組成、骨密度と栄養療法およびリハビリテーションによる変化. 日本脊髄障害医学会雑誌. 2019, 32(1), p.108-109.
- 2 菊地 尚久, 吉永 勝訓. 脊髄損傷患者の回復期における慢性疼痛. 日本脊髄障害医学会雑誌. 2019, 32(1), p.22-25.
- 3 Tadashi Tsukeoka, Yoshikazu Tsuneizumi, Kensuke Yoshino. An Accelerometer-Based Navigation Did Not Improve the Femoral Component Positioning Compared to a Modified Conventional Technique of Pre-Operatively Planned Placement of Intramedullary Rod in Total Knee Arthroplasty. Archives of orthopaedic and trauma surgery. 2019, 139(4), p.561-567.
- 4 Tadashi Tsukeoka, Yoshikazu Tsuneizumi, Kensuke Yoshino. Preoperative Planned Distance Between the Skin Surface and the Guide Rod Provides Accurate Posterior Tibial Slope in Total Knee Arthroplasty. Archives of orthopaedic and trauma surgery. 2019, 139(8), p.1133-1139.
- 5 Tadashi Tsukeoka, Yoshikazu Tsuneizumi. Residual Medial Tightness in Extension Is Corrected Spontaneously After Total Knee Arthroplasty in Varus Knees. Knee Surgery, Sports Traumatology, Arthroscopy. 2019, 27(3), p.692-697.
- 6 常泉 吉一, 付岡 正. Journy II CR型の屈曲角度変化の検討. 日本人工関節学会誌. 2019, 49, p.377-378.

(イ) リハビリテーション療法部

- 1 高浜 功丞, 村山 尊司, 丹治 千尋, 飯塚 正之, 菊地 尚久, 吉永 勝訓. 頸髄損傷不全麻痺者に対する、課題指向型アプローチを含む修正CI療法の結果と考察. 日本脊髄障害医学会雑誌. 2019, 32(1), p.106-107.
- 2 山本 小緒里, 西川 順治, 穴水 幸子. 前脳基底部健忘重症例に対する時間的見当識訓練. 認知リハビリテーション. 2019, 24(1), p.62-68.
- 3 松澤 和洋, 村山 尊司, 小針 友義, 鈴木 晃穂, 菊地 尚久, 吉永 勝訓. 慢性期脳卒中者の下肢に対する健側非拘束下modified constraint-induced movement therapyの効果. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 2019, 56(9), p.727-733.
- 4 森井 展子(品川リハビリテーション病院), 大塚 栄子, 他. 脳卒中後遺症者が麻痺側上肢の不使用に至るプロセス: 壮年期あるいは中年期に脳卒中を発症した人の場合. 作業療法. 2019, 39(1), p.70-78.
- 5 中島 友加, 荏原 実千代, 大塚 恵美子, 先崎 章, 吉永 勝訓. 小児期発症高次脳機能障害者の記憶を含む認知機能の長期経過. 認知リハビリテーション. 2019, 24(1), p.69-78.

(6) 解説・記事・短報・その他

ア 診療部

- 1 吉永 勝訓, 赤荻 英理, 西川 順治, 小倉 由紀, 中島 光喜, 森戸 崇行, 山崎 覚子. 特集, 職業リハビリテーションとリハ科医の役割: 頭部外傷. *Journal of Clinical Rehabilitation*. 2019, 28(1), p.26-33.
- 2 菊地 尚久. リハビリテーション医としてオリパラにかける期待. *日本補助犬科学研究*. 2019, 13(1), p.2-6.
- 3 菊地 尚久. 特集, リハビリテーションを理解する-方法と効果の評価: リハビリテーション医療の現状. *JOHNS*. 2019, 35(8), p.911-914.
- 4 菊地 尚久. 特集, 患者の満足度を高める関節リウマチ手術: 関節リウマチに対するリハビリテーション治療のポイント. *臨床整形外科*. 2019, 54(12), p.1247-1253.
- 5 菊地 尚久. 特集, 在宅医に役立つ生活期における補装具・生活用具の知識: 在宅の関節リウマチ患者の日常生活向上に向けた装具、車椅子. *Monthly Book Medical Rehabilitation*. 2019, (234), p.40-46.
- 6 菊地 尚久. 特集, 障害者施設等一般病棟の現状と課題: 障害者施設等一般病棟の実際, 千葉県千葉リハビリテーションセンターの場合. *Journal of Clinical Rehabilitation*. 2019, 28(11), p.1101-1105.
- 7 高相 道彦. 特集, 日常診療に役立つ新生児外科系疾患の知識: 眼科 緑内障、白内障. *周産期医学*. 2020, 50(2), p.263-266.
- 8 石井 光子. 重症心身障害児者における医療的ケア児者の実態調査の結果から見えてくる千葉県の展開. *ちばヘルス財団だより*. 2019, 22, p.6-10.

イ リハビリテーション療法部

- 1 遠藤 友樹, 村山 尊司, 丹治 千尋. 特集, 高齢脊髄不全損傷患者への理学療法士の関わり: 高齢脊髄不全損傷患者の住環境整備への理学療法士の関わり, 不全頸髄損傷を中心に. *理学療法*. 2019, 36(8), p.731-739.
- 2 森 沙理, 小針 友義, 村山 尊司. 特集, 脳卒中患者の上肢に対する理学療法up to date: 脳卒中患者の上肢に対するCI療法の効果と経過. *理学療法ジャーナル*. 2019, 53(7), p.661-670.
- 3 石井 清志 (国際医療福祉大学), 大塚 栄子, 他. 千葉県の作業療法士養成校における臨床教育の現状とこれから. *千葉作業療法*. 2019, 9(1), p.28-33.

ウ 看護部

- 1 尾上 望. 特集, 重症心身障害児(者)の看護倫理～実践事例から考える～: 実践事例から看護倫理を考える ケア・援助 重症心身障害児がもっている力を発揮するための遊びの援助. *小児看護*. 2019, 42(5), p.610-616.
- 2 尾上 望. 特集, 再考!小児看護専門看護師の実践と役割: さまざまな場で活躍する小児看護専門看護師, リハビリテーション施設における看護実践. *小児看護*. 2019, 42(6), p.711-716.
- 3 尾上 望. 特集, 看護師がみる「なにか変」親が感じる「いつもと違う」: Not Doing Well 重症心身障がい児・発達障害のある子どもたち. *小児看護*. 2020, 43(3), p.272-277.

エ 療育支援部

- 1 森戸 崇行. 特集, 大事なことだけスライドに!学び直しにも使える!誌上開催!回復期リハ病棟の“すべらない”勉強会: 入院医療の評価と退院支援 *社会資源*. *リハビリナース*. 2020, 13(2), p.168-174.

オ 更生園

- 1 檜澤 美佳, 露崎 雄太, 芝井 孝祐, 大塚 栄子, 伊藤 孝子. 千葉中央ブロックの各施設での地域支援の取り組み. *千葉作業療法*. 2020, 9(1), p.7-10.

カ 地域リハ推進部

- 1 田中 康之. 特集, 在宅医に役立つ生活期における補装具・生活用具の知識: 在宅医に役立つ褥瘡予防用具に関する基礎知識 ベッドマットレス. *Monthly Book Medical Rehabilitation*. 2019, (234), p.81-87.
- 2 太田 直樹, 田中 康之, 吉永 勝訓. 在宅医に役立つ生活期における補装具・生活用具の知識 在宅医に役立つ生活期の患者移動・移乗補助具に関する基礎知識. *Monthly Book Medical Rehabilitation*. 2019, (234), p.65-71.

キ 総務部

- 1 大塚 恵美子. 特集, 回復期リハビリテーション病棟退院後の戦略-生活機能の向上をめざして: 高次脳機能の維持・改善と復職支援. *総合リハビリテーション*. 2019, 47(9), p.861-867.

(7) 研修会等での発表

ア 診療部

テーマ等	氏名	研修会名等	月日	場所
リハビリテーション概論	吉永勝訓	平成31年度新入職員研修	4月4日	季美の森リハビリテーション病院
高齢脊髄損傷者のリハビリテーションにおける諸問題	吉永勝訓	第1回脊損リハ・ケア研修会	6月29日	千葉リハビリテーションセンター大ホール
下肢装具の基礎と適合判定・上肢装具の基礎と適合判定	吉永勝訓	令和元年度年度義肢装具適合判定医師研修会	8月22日	国立障害者リハビリテーションセンター学院
地域リハビリテーションの歩みと今後への期待	吉永勝訓	令和元年度印旛医療圏地域リハビリテーション広域支援センター研修会	11月12日	成田市文化芸術センター
総合リハビリテーションの中での自立訓練事業の役割	吉永勝訓	身体障害者リハビリテーション研究集会2019	11月28日	レクザムホール (香川県県民ホール)
地域包括ケア時代における総合リハビリテーション	吉永勝訓	職員研修会	11月29日	かがわ総合リハビリテーション福祉センター
千葉JRAT (C-RAT) 組織化とその後の経過	吉永勝訓	地域JRAT全国研修会	12月1日	エーザイ(株)東京コミュニケーションオフィス
地域包括ケア時代における総合リハビリテーション	吉永勝訓	職員研修会	12月9日	名古屋市総合リハビリテーションセンター
千葉県における地域リハビリテーションの「今まで」と「これから」	吉永勝訓	令和元年度千葉県地域リハビリテーションフォーラム	12月21日	千葉市文化センターアートホール
千葉JRATの歩み	吉永勝訓	茨城JRAT発足記念会	12月21日	茨城県立医療大学
ボツリヌス療法と装具療法	菊地尚久	CORABOSS in SHINAGAWA IV	4月20日	昭和大学医学部附属看護専門学校
リハビリテーション治療 (各種治療法)	菊地尚久	かかりつけ医のための訪問リハビリテーション診療に関する研修会	5月19日	フォーラムミカサ
障害者のリハビリテーションと社会制度	菊地尚久	回復期セラピストマネージャーコース	7月4日	AP浜松町
痙縮治療戦略	菊地尚久	痙縮、脊髄障害勉強会in神奈川	9月12日	TKPガーデンシティPREMIUM
障害者のリハビリテーションと社会制度	菊地尚久	回復期リハビリテーション看護師認定コース	9月20日	三田NNホール
歩行可能な痙縮患者に対するITB療法	菊地尚久	第6回九州・山口ITB療法カンファランス	12月7日	リファレンス駅東ビル
生活期に必要な合併症の知識	菊地尚久	生活期リハビリテーション医療にかかわる医師のための研修会	2月9日	フォーラムミカサ
痙縮治療について	菊地尚久	リハビリテーション科医になろうセミナー	2月16日	エッサム本社ビル
医療的ケアに必要な知識の再履修	石井光子	小児医療ケアの実習	5月29日	千葉リハビリテーションセンター
病態生理、摂食嚥下障害、経管栄養、健康観察への対応等について	石井光子	特別支援学校における医療的ケア基本研修	6月5日	千葉県総合教育センター
医療的ケアの講義及び実技研修	石井光子	看護師研修会	7月29日・8月7日・21日	千葉リハビリテーションセンター
医療的ケアに関わる養護教諭が理解しておきたいこと	石井光子	第8回全国特別支援学校養護教諭キャリアアップ研修会	7月30日	国立オリンピック記念青少年総合センター

テーマ等	氏名	研修会名等	月日	場所
スクールメディカルサポーターとして医ケア児の特性、状態を理解し、どのように学校、保護者と連携を図りサポートしていくかについて。カニューレ抜去時再挿入の手技研修等	石井光子	スクールメディカルサポーター研修	7月30日	千葉県千葉リハビリテーションセンター
摂食嚥下障害と経管栄養 等	石井光子	特別支援学校における医療的ケア基本研修	8月5日・6日	千葉県立袖ケ浦特別支援学校
障害の重い子供たちを担当する教員に望むこと	石井光子	医療的ケア担当者実践研修	8月23日	千葉県立袖ケ浦特別支援学校
超重症児・準超重症児	石井光子	重症心身障害看護師研修会	10月20日	福祉プラザさくら川
長重症児の定義と子どもを取り巻く現状	石井光子	超重症児を受け入れる訪問看護師研修	10月27日	千葉県こども病院
スクールメディカルサポーター配置校対象児の状況確認・助言	石井光子	スクールメディカルサポーター研修	12月27日	千葉市養護教育センター
医療的ケア児を取り巻く現状と今後の課題	石井光子	小児慢性特定疾病等自立支援事業講演会	1月29日	千葉県山武保健福祉センター
小児科医がコーディネートする集約的痙縮治療	石井光子	小児痙縮治療カンファランス	2月1日	丸の内オアゾ
医療的ケアが必要な障害児の現状とこれから	石井光子	夷隅地区自立支援協議会児童支援部会研修会	2月19日	御宿町役場
骨粗鬆症疾患の診断学の向上と治療学の確立	付岡正	千葉市病診連携講演会	9月20日	京成ホテルミラマーレ
骨折しないからだづくりを	付岡正	骨健康市民公開講座	12月15日	蘇我コミュニティセンター
重症心身障害者の骨折予防について	鶴岡弘章	職員研修	8月6日	光陽園
呼吸障害とその対応	田邊良	特別支援学校における医療的ケア基本研修	6月4日	千葉県総合教育センター
医療的ケアについて（入門編）	田邊良	医療的ケア研修会	7月26日	千葉県立市原特別支援学校
呼吸障害とその対応	田邊良	特別支援学校における医療的ケア基本研修	8月6日	千葉県立袖ケ浦特別支援学校
重度重複児の健康面の理解について	田邊良	職員研修会	8月20日	千葉県立栄特別支援学校
障害のある子供の学校生活を充実させる医学的対応及び教育と医療の連携	佐野賢太郎	医師から学ぶ医学的知識研修	8月23日	千葉県教育会館

イ リハビリテーション療法部

テーマ等	氏名	研修会名等	月日	場所
小児支援の実際	中島友加	高次脳機能障害支援事業関係職員研修会	6月28日	国立障害者リハビリテーションセンター学院
発達障害について	赤石正美	職員研修会	7月9日・8月28日	千葉県立船橋夏見特別支援学校
質問-応答関係検査について	知念洋美	国リハ式<S-S法>言語発達遅滞検査講習会	7月18日・19日・20日	国立オリンピック記念青少年総合センター
認知発達の視点から、子どもの発達課題を捉える	中島友加	職員研修会	7月23日	千葉県立千葉特別支援学校

テーマ等	氏名	研修会名等	月日	場所
姿勢と手の動きの発達	吉田 顕	夏季研修会	7月24日	千葉県立夷隅特別支援学校
言語聴覚士の就職活動について	廣瀬綾奈	S T就職対策講座	8月10日	昭和女子大学
言語・コミュニケーションの発達段階に応じたかかわり方	廣瀬綾奈	職員研修会	8月26日	千葉県立千葉特別支援学校
呼吸について	金坂一篤 北村千里 菊澤以津子	職員研修	8月28日	千葉県立袖ヶ浦特別支援学校
高次脳機能障害の理解と支援ー小児のリハビリについてー	廣瀬綾奈 中島友加	特別支援教育専門研修	10月2日	千葉リハビリテーションセンター
受傷・発症から退院に向けたリハビリテーション ～脊髄損傷の障害に合わせた支援～	神保和正	NPO法人ケアリフォーラムシステム研究会全国大会	10月11日	千葉県茂原市総合市民センター
医療における高次脳機能障害児の支援と教育機関との連携	廣瀬綾奈	高次脳機能障害専門職研修会	10月19日	平安病院
ヘルスケアシステム論Ⅱ	宮原なおみ	認定看護管理者教育課程セカンドレベル	11月13日	千葉県看護協会
授業改善	大矢祥平	職員研修	11月20日	千葉県立桜が丘特別支援学校
地域で携わることが想定される事例検討～小児領域～	大塚栄子	地域包括ケアシステムに資する作業療法士人材育成研修会	12月1日	船橋市立リハビリテーション病院
生活を豊かにする支援機器の活用について	三屋邦明	P T A 研修会	12月10日	千葉県立桜が丘特別支援学校
多職種連携、MTDLPにおけるマネジメント過程の実践ほか	三屋邦明	臨床実習指導者講習会	12月21日・22日	千葉県立保健医療大学
小児の高次脳機能障害の評価と支援の実際	廣瀬綾奈	神奈川県言語聴覚士会研修会	1月19日	神奈川労働プラザ
授業姿勢と認知コミュニケーション	廣瀬綾奈 三屋邦明	校内研修	1月29日	千葉県立桜が丘特別支援学校
ケーススタディ	長谷川純子	令和元年度就業支援スキル向上研修	1月30日	障害者職業総合センター
高次脳機能障害の理解と対応について	中島友加	特別支援教育部教育相談研修会	2月13日	千葉県総合教育センター

ウ 看護局

テーマ等	氏名	研修会名等	月日	場所
安楽な体位・スキンケア、摂食嚥下・口腔ケア	青木ゆかり 齋藤なをみ 江原三有紀	千葉県立病院新人看護職員合同技術研修	4月12日	千葉県立保健医療大学
急変時対応、感染管理	鈴木智子 中村俊輔 藤田万智子	千葉県立病院新人看護職員合同技術研修	4月19日	千葉県立保健医療大学
後輩へのエール	伊東実香	フレッシュセミナー(春)	5月21日	千葉県看護会館
身体拘束『ゼロ』に向けての取り組み	江尻友理子	医療安全研修会	6月3日	東京都リハビリテーション病院
体験しながら、食べる機能を考えよう	青木ゆかり	ダウン症児における摂食嚥下基礎研修会	7月10日	千葉県長生合同庁舎
医療的ケアに関する講義及び実技	柳沼美穂	特別非常勤講師研修会	7月29日 ・8月7日 ・21日	千葉リハビリテーションセンター

テーマ等	氏名	研修会名等	月日	場所
低栄養と医原性サルコペニア	古谷房枝	看護研修会	7月31日	東京さくら病院
食べて、動いて、『栄養貯筋』	古谷房枝	おゆみ野地区地域運営委員会研修会	8月18日	千葉市緑区役所
退院後に必要な療育の概念	青木ゆかり	NICU看護師育成研修	9月7日	千葉県看護会館
総合実習・看護管理実践計画発表会	池畑久美子	第19回認定看護管理者教育課程セカンドレベル	9月25日 ・11月6日 ・14日・20日・27日	千葉県看護会館
創傷ケアと摂食嚥下ケアの知識を得て現場に生かそう！！	津島久美	千葉地区部会第2回看護研修会	9月30日	千葉県看護会館
自己を知り、働き続けるヒントを得て活用しよう	古谷房枝 上田広美	フレッシュセミナー(秋)	10月9日	千葉県看護会館
ICF	江尻友理子	看護部研修会	10月17日	季美の森リハビリテーション病院
重症心身障害児の成長発達の特徴	栗林欣子	認定重症心身障害看護研修会	10月20日	福祉プラザさくら川
重症児のフィジカルアセスメント	山崎明子	認定重症心身障害看護研修会	10月20日	福祉プラザさくら川
いつまでも家族みんなで食事を楽しむために	青木ゆかり	摂食嚥下研修会	11月14日	千葉リハビリテーションセンター
これからの保健医療従事者に求められるもの ～看護管理者の立場で自組織の取り組みを通して～	飯田直子	10周年記念事業シンポジウム	11月23日	千葉県立保健医療大学
摂食に関わる諸問題への対応	青木ゆかり	療育支援研修会	11月23日	千葉リハビリテーションセンター
家族看護	古谷房枝	看護研修会	1月8日	千葉県循環器病センター
小児看護の倫理	尾上望	重症児を受け入れる訪問看護師等研修会	2月9日	千葉リハビリテーションセンター

エ 療育支援部

テーマ等	氏名	研修会名等	月日	場所
高次脳機能障害の緩やかな回復に寄り添う支援～地域で暮らす～	森戸崇行	ワンストップで対応できる高次脳機能障害支援	4月20日	船橋市中央公民館
「親子で楽しむ」 お子様の発達をうながす遊び	小野亮子	親子のつどい	5月24日	松戸市立総合医療センター
回復期リハ病棟で行う受診・受療援助	森戸崇行	回復期リハ病棟ソーシャルワーカー研修会（基礎研修）	7月13日 ・14日	日本教育会館
家庭復帰の考え方と社会制度	森戸崇行	回復期リハ看護師認定コース	7月13日 ・14日	三田NNホール
障害児支援における特性や課題を理解する。	森戸崇行	千葉県相談支援従事者初任者研修	8月29日 ・30日	千葉県教育会館
回復期リハ病棟におけるソーシャルワーク	森戸崇行	回復期リハ病棟専従医師研修会	9月29日	三田NNホール
重症心身障害児の相談支援と多職種連携	森戸崇行	千葉県相談支援従事者現任研修	10月10日 ・11日	千葉県教育会館
高次脳機能障害のある方の支援について ～意思決定支援を踏まえながら～	森戸崇行	回復期リハ病棟ソーシャルワーカー研修会（アドバンス研修）	11月2日 ・3日	日本教育会館

テーマ等	氏名	研修会名等	月日	場所
支援における多職種連携を考える	森戸崇行	高次脳機能障害関係機関等連携強化研修会	12月8日	長崎県庁

オ 更生園

テーマ等	氏名	研修会名等	月日	場所
障害体験実習	小針友義	令和元年度厚生労働大臣指定講習	4月18日	障害者職業総合センター
講義・演習	寺内勲	サービス管理責任者等指導者養成研修会	6月12日 ・13日 ・14日	国立障害者リハビリテーションセンター学院
講義・演習	篠原正倫	千葉県サービス管理責任者基礎研修	11月14日	千葉市民会館
講義・演習	篠原正倫	千葉県サービス管理責任者基礎研修	12月10日 ・13日 ・27日 ・1月27日	千葉県教育会館
ケーススタディ	吉田大	令和元年度就業支援スキル向上研修	1月30日	障害者職業総合センター

カ 高次脳機能障害支援センター

テーマ等	氏名	研修会名等	月日	場所
高次脳機能障害の基礎知識	小倉由紀	聖母マリア園職員向け研修	4月16日	聖母マリア園
高次脳機能障害者の運転再開評価基礎知識	小倉由紀	千葉県回復期リハビリテーション連携の会言語聴覚士部会・作業療法士部会合同研修会	8月3日	季美の森リハビリテーション病院
作業療法の可能性	小倉由紀	千葉県作業療法士会 令和元年度現職者共通研修会 I	8月25日	千葉県立保健医療大学
高次脳機能障害の特性と対応	小菅倫子	高次脳機能障害研修会	8月28日	千葉市総合保健医療センター
高次脳機能障害者を地域で支える～事例	田中葉子			
高次脳機能障害の在宅リハビリテーションの実践	揚戸薫	第26回脳機能とりハビリテーション研究会学術集会	9月14日	産業技術総合研究所
高次脳機能障害者の地域移行	揚戸薫	アクアリハ病院内勉強会	10月9日	アクアリハビリテーション病院
高次脳機能障害の基礎知識	小倉由紀 田中葉子	杜の家なりた職員研修会	10月10日	特別養護老人ホーム 杜の家なりた
高次脳機能障害の生活を支えるマネジメント	揚戸薫	生活版ジョブコーチ支援研修会	11月9日	鴨川市総合保健福祉センター
脳損傷者の自動車運転再開支援概論	小倉由紀	第4回日本安全運転・医療研究会	12月13日	福井県県民ホール
高次脳機能障害者の就労支援	小倉由紀	千葉県言語聴覚士会研修	1月19日	順天堂大学
医学リハビリテーションの実際	小倉由紀	厚生労働大臣指定講座	1月21日 ・2月4日	千葉県千葉リハビリテーションセンター
回復期退院後、“地域に繋ぐ”を支援する	揚戸薫 田中葉子	第10回 回復期リハ有志の会	1月31日	千葉市中央コミュニティセンター
運転・移動手段に関する支援の概要	小倉由紀	日本作業療法士協会 作業療法重点課題研修	2月1日	国際医療福祉大学 福岡キャンパス
肢体不自由者に対する支援方法	小倉由紀	日本作業療法士協会 作業療法重点課題研修	2月2日	国際医療福祉大学 福岡キャンパス

テーマ等	氏名	研修会名等	月日	場所
高次脳機能障害と運転	小倉由紀 田中葉子	いんば高次脳機能障害家族交流会	2月6日	印西市立中央駅前地域交流館
子どもの高次脳機能障害の理解と対応について	小倉由紀	千葉県特別支援教育部教育相談研修会	2月13日	千葉県総合教育センター
生活版ジョブコーチ支援研修会	揚戸薫 前島潤子	コープみらいヘルパー定例勉強会	2月22日	コープみらい桜木介護センター

キ 地域リハ推進部

テーマ等	氏名	研修会名等	月日	場所
自立支援型地域ケア会議ってナニ？	田中康之	君津市介護支援専門員協議定例総会特別講演	5月23日	君津市生涯学習交流センター
各職場における研修システム	田中康之	第54回日本理学療法士学術研修大会	5月26日	徳島文理大学
地域資源としての回復期リハ病棟を持つ医療機関への期待	田中康之	教都市域地域リハビリテーション協力病院会議	6月18日	ホテルルビノ京都堀川
ロコトレ指導・ロコモ度テストの実践	太田直樹	千葉市薬剤師会学術講演会	6月22日	千葉市総合保健医療センター
専門性を問う～地域共生社会・包括的支援体制が求められる今だからあえて考えるべきこと～	田中康之	特定非営利活動法人リンク5周年記念シンポジウム	6月29日	千葉市社会福祉研修センター
リハビリテーション専門職の立場から	後藤達也	千葉市の災害医療における地域連携を考える	7月8日	京成ホテルミラマーレ
千葉県の地域リハビリテーション支援体制の推進「これまで」と「これから」～	田中康之	全国地域リハビリテーション合同研修大会inひょうご2019	7月14日	神戸芸術センター
災害時における保健師活動の対応能力向上～千葉JRATの活動について～	田中康之	令和元年度千葉県保健師現任教員教育推進のための担当者会議	8月7日	千葉県自治会館
被災障害者への生活とこころのケア	田中康之	第42回総合リハビリテーション研究大会	9月13日	ビッグパレットふくしま
地域リハビリテーション	田中康之	職員研修会	9月25日	船橋市立リハビリテーション病院
軽度認定者への支援について	田中康之	浦安市短期集中予防サービス・自立支援会議従事者研修会	10月3日	浦安市役所
理学療法士の仕事について	田中康之	介護の基礎知識講座	10月17日	建築会館
多様なニーズに挑む-理学療法士の果たすべき役割-	田中康之	第38回関東甲信越ブロック理学療法士学会	10月27日	ベイシア文化ホール
障害者インクルーシブ防災の実践を目指して	後藤達也	海匠圏域地域相談員研修会	11月26日	千葉県立東部図書館
医療との連携とリハビリテーション	田中康之	介護職員初任者研修	11月28日	佐倉市社会福祉センター
介護スタッフのための緩和ケアマニュアルについて	田中康之	理学療法士のための緩和ケア研修会	12月23日	千葉県庁
快適な居住環境整備と医療	田中康之	介護職員初任者研修	1月14日	佐倉市社会福祉センター
みんなが主役の通いの場にするコツ	田中康之	わ(和・輪)が広がる！介護予防交流会	1月22日	佐倉市志津コミュニティセンター
介護予防のための地域ケア個別会議の意義と役割	田中康之	香取市介護支援ネットワーク会議	1月23日	香取市おみがわ市民センター

テーマ等	氏名	研修会名等	月日	場所
身体拘束がもたらす弊害	田中康之	高齢者権利擁護・身体拘束廃止指導者養成研修	1月31日	千葉県教育会館
介護スタッフのための緩和ケアマニュアル	田中康之	介護スタッフのための緩和ケアマニュアル研修	2月13日	みつわの郷
介護スタッフのための緩和ケアマニュアル	田中康之	介護スタッフのための緩和ケアマニュアル研修	2月18日	ほのぼの勝田台
社会をリハビリテーションする	田中康之	いばらき社会リハビリテーションフォーラム	3月22日	つくば国際会議場

ク 総合相談部

テーマ等	氏名	研修会名等	月日	場所
障害者ケアマネジメントに係る講義・演習	佐藤郁夫	千葉県相談支援従事者初任者研修	8月19日 ・22日	千葉県教育会館
回復リハビリ病棟の病院対応について	阿部里子	介護の基礎知識講座	9月19日	建築会館
障害者ケアマネジメントに係る講義・演習等	佐藤郁夫 阿部里子	千葉県相談支援従事者現任研修	10月7日 ・8日	千葉県教育会館
障がい者（児）と家族の暮らしを楽にする	阿部里子	NPO法人ケアリフォームシステム研究会全国大会	10月11日	千葉県茂原市総合市民センター
障害者ケアマネジメントに係る講義・演習等	景山朋子	千葉県相談支援従事者現任研修	10月30日 ・31日	千葉市文化センター
医療的ケアの必要な重症児者の在宅生活に必要な支援	景山朋子	千葉県医療的ケア児等コーディネーター養成研修	2月8日 ・9日	千葉リハビリテーションセンター
千葉県重症心身障害児者及び医療的ケア児者の実態調査から	景山朋子	千葉県医療的ケア児等コーディネーター養成研修	2月8日 ・9日	千葉リハビリテーションセンター
重症児者の利用する福祉用具と利用の流れ	佐藤郁夫	千葉県医療的ケア児等コーディネーター養成研修	2月8日 ・9日	千葉リハビリテーションセンター
医療的ケアの必要な重症児者の在宅生活に必要な支援	景山朋子	千葉県小児等訪問看護師育成研修	2月8日 ・9日	千葉リハビリテーションセンター
重症児者支援における地域の現状と災害に備えて必要な支援体制	景山朋子	千葉県医療的ケア児等コーディネーター養成研修	2月11日 ・14日	千葉リハビリテーションセンター
乳幼児期の医療的ケアの必要な重症児と家族への相談支援	佐藤郁夫	千葉県医療的ケア児等コーディネーター養成研修	2月11日 ・14日	千葉リハビリテーションセンター
施設内虐待防止対策について	景山朋子	虐待防止対策研修会	2月19日	光陽園
小児看護CNSから学ぶ重症心身障害児（者）と家族の看護	景山朋子	スキルアップセミナー	2月22日	中野サンプラザ

(8) 講義・授業等

テーマ等	所属	氏名	学校名等	月日/回
医学リハビリテーション概論	診療部	吉永勝訓	障害者職業総合センター	4月12日
がんのリハビリテーションの問題点	診療部	吉永勝訓	千葉県立保健医療大学	9月28日 ・29日
加齢とのつき合い方～高齢者がかかりやすい骨・関節等の病気～	診療部	吉永勝訓	ことぶき大学校	1月30日
リハビリテーション科学講義	診療部	菊地尚久	横浜市立大学	9月6日
リハビリテーション医学	診療部	吉永勝訓	千葉県立保健医療大学	9回
言語聴覚士における口腔機能の評価と機能訓練法	リハ療法部	坂居隆	千葉県立保健医療大学	5月28日
地域包括ケア方法論 脳神経障害・疾患を持つ高齢者の看護	リハ療法部	小池学	城西国際大学	11月20日
発達障害理学療法学演習 発達障害理学療法学特論	リハ療法部	宮原なおみ	千葉県立保健医療大学	11月21日
理学療法技術論	リハ療法部	村山尊司	千葉県立保健医療大学	12月2日・9日
心理学Ⅱ	リハ療法部	長谷川純子	国立障害者リハビリテーションセンター学院	1月31日 ・2月1日
日常生活活動援助学・日常生活活動援助学演習	補装具製作施設	浦田敦	千葉県立保健医療大学	6回
小児看護学援助論Ⅱ	看護局	佐々木律子	千葉県立野田看護専門学校	4月9日・12日
小児看護学援助論Ⅱ	看護局	尾上望	千葉県立野田看護専門学校	4月15日 ・17日
看護システム管理学専攻ケア施設看護システム管理学特論Ⅰ	看護局	飯田直子	千葉大学大学院看護学研究科	6月22日
小児看護学方法論Ⅱ 「障がいのある小児の看護」	看護局	尾上望	千葉県立保健医療大学	7月10日
重症心身障がい児と家族への看護	看護局	杉山裕美	淑徳大学	7月19日
発達障害看護学	看護局	杉山裕美	千葉大学大学院看護学研究科	11月5日
成人看護学援助法Ⅰ 「回復期・リハビリテーションの看護」	看護局	鈴木奈津子 清水芳江	千葉県立鶴舞看護専門学校	11月7日
発達障害看護学	看護局	日下部瞳	千葉大学大学院看護学研究科	11月12日 ・19日
小児の健康障害と看護「長期にわたる健康障害」	看護局	小高久美子	千葉県立野田看護専門学校	11月13日
ナーシングフィジカルアセスメント	看護局	津島久美	千葉大学大学院看護学研究科	11月18日
作業療法評価学	高次脳	小倉由紀	千葉県立保健医療大学	9回
作業療法治療学	高次脳	小倉由紀	千葉県立保健医療大学	5回
看護基本技術Ⅰ	地域リハ推進部	田中康之	千葉大学看護学部	4月22日
看護における多職種連携の進め方	地域リハ推進部	田中康之	秀明大学 看護学部	6月26日
リハビリテーション論	地域リハ推進部	田中康之	城西国際大学	8月26日・28日 ・9月2日
リハビリテーション論	地域リハ推進部	田中康之	千葉リハビリテーションセンター	9月4日
P TスキルⅠ演習 (キャリアデザイン)	地域リハ推進部	田中康之	国際医療福祉大学	11月27日
地域理学療法学特論	地域リハ推進部	田中康之	千葉県立保健医療大学	12月10日 ・20日

(9) 主な研究実績

ア 治験

研究課題名	責任医師名	分野
脳卒中後の下肢痙縮の治療に対する NT 201 の有効性及び安全性を検討するために非盲検忍容性導入期及び非盲検継続試験期を設けたプロスペクティブ二重盲検、プラセボ対照無作為化多施設共同試験	菊地 尚久	リハビリテーション科 脳神経内科
アジアにおける中枢性神経障害性疼痛を有する患者を対象にしたミロガバリンの 14 週間の多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照試験及び 52 週間の非盲検長期投与試験	菊地 尚久	リハビリテーション科 脳神経内科
脳卒中後片側上肢麻痺に対するリハビリテーション実施患者を対象とした T-817MA の臨床第 II 相試験ーランダム化、プラセボ対照、二重盲検、多施設共同試験ー	菊地 尚久	リハビリテーション科 脳神経内科
脳血管障害による片麻痺患者に対する生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型治療ロボット (HAL-TS01) の下肢体幹運動能力改善効果に関する医師主導治験 (HIT-2016 試験)	菊地 尚久	リハビリテーション科

イ 受託研究

研究課題名	研究責任者名	分野
脳卒中後の麻痺上肢機能に応じた適切な難易度となる ReoGo-J の訓練プログラムを検討する前方視観察研究	菊地 尚久	リハビリテーション科
関節リウマチを対象とした日常診療下におけるサリルマブの前向き観察研究	付岡 正	リウマチ科
家族・当事者が、支援される人から支援できる人に育っていくための研究	吉永 勝訓 (分担研究者)	高次脳機能障害
障害児家族の適切な親子分離をはかり親子それぞれの社会的自立を促すための支援パッケージ開発に関する研究	田邊 良 (分担研究者)	小児神経科

ウ 製造販売後調査

研究課題名	責任医師名	分野
ゼルヤンツ R 錠 5 mg 特定使用成績調査	付岡 正	整形外科
プラリア皮下注 60 mg シリンジ 特定使用成績調査	付岡 正	リウマチ科